

Miya Epoch

PRO & AM
COMMAND AT-3S

Auto Tension Control

取扱説明書

ご使用前に必ずお読みください
なくさないように大切に保管してください



MODEL
AT-3S



ミヤエポック

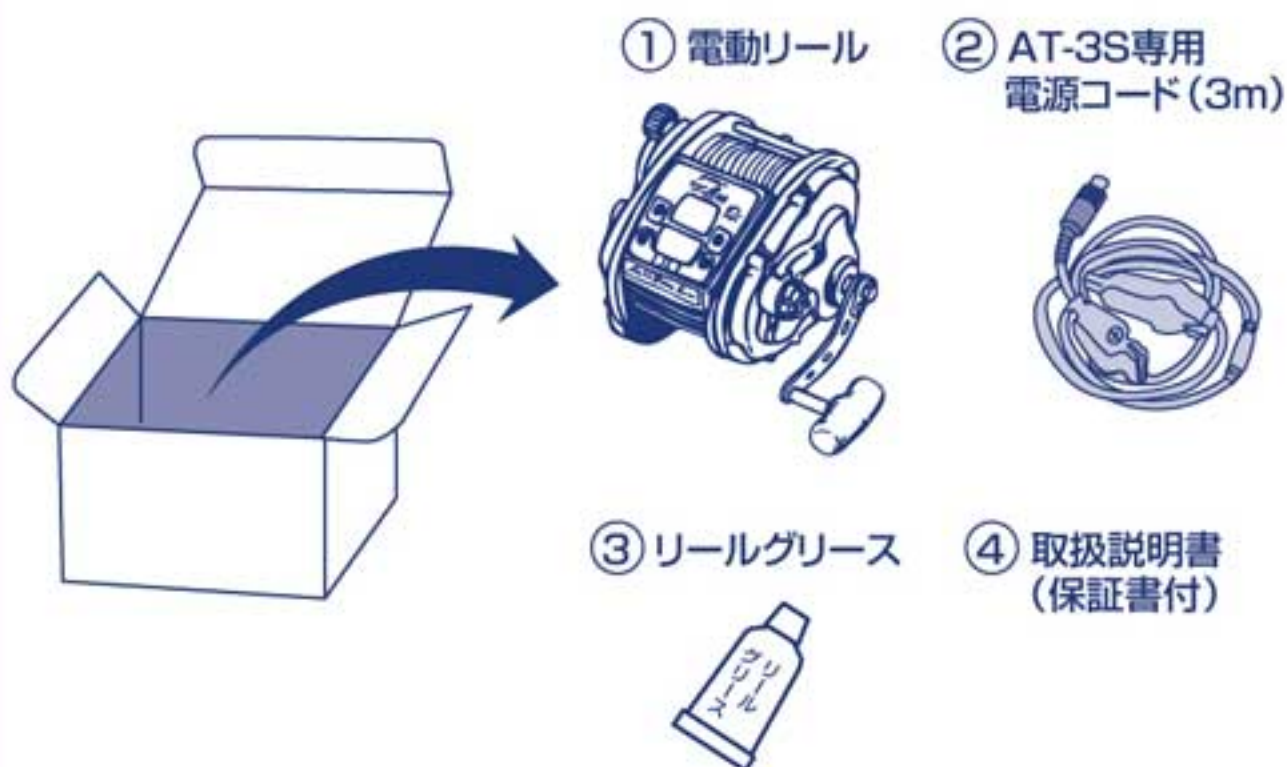
URL <http://www.miyaepoch.jp>

この度は **PRO・AME** **COMMAND AT-3S** をお買い上げ頂きまして、誠にありがとうございます。

このリールの機能を十分に発揮させ、また永年ご愛用頂くためにも、この取扱説明書を十分にお読みの上、大切に保管してください。

梱包の内容

このパッケージの中に入っている商品です。最初に開けた時に、ご確認下さい。



PRO•AME COMMAND AT-3S 目次


梱包の内容	1P
目次	2P
COMMAND AT-3S 仕様	3P
各部の名称	4P
電源の接続	5P
釣糸巻き操作	6~8P
主な機能および操作	9~14P
①船べり停止	9P
②回転数表示への切り替え	9P
③瞬動巻き取り・自動OFF	10P
④自動巻き取りON/OFF	10P
⑤スピードコントローラー	11P
⑥スロースタート・スローストップ制御	11P
⑦釣力コントロール(ATC)	12P
⑧シャクリ機能	12~14P
糸長さ補正制御	15P
警告制御	16P
ドラグの調整方法とサミング	17P
オプションパーツ(別売品)	18P
故障かな?と思ったら	19P
使用上のご注意及びお手入れ方法	20P
分解図	21~22P
保証書	23P

項目	仕様					
最大糸巻量 ミヤニューディーブセンサー	4号	5号	6号	8号	10号	12号
	900m	800m	700m	550m	450m	350m
(注) スプールの高さより多く巻かれますと、フリーにならなくなりますので、巻き過ぎには十分ご注意ください。						
瞬間最大巻上力 (スプール最小径での瞬間最大)	539.4N (55kg)					
ドラグ耐力	196.1N ~ 392.3N (20~40kg)					
最大巻上速度 (無負荷・スプール最大径のとき)	150m / 分					
巻上方式	3ウェイ(電動・手動・電動+手動)					
手巻きギヤ比	1:1.92					
電源	DC-12V 専用					
消費電流	2.6A~15A					
使用温度	-10℃ ~ 80℃					
ボールベアリング	10ヶ					
リール自重	1.7kg					
操作機能・安全機能	オートドラグ	釣力コントロール		リモートコントロール		
	—	○		—		
	高速自動巻取	船べり停止		深さ記憶		
	○	○		—		
	無段変速	スロースタート・スローストップ		シャクリ任意設定		
	○	○		○		
	電圧レベル表示	+-逆接防止		過負荷自動制御		
○	○		○			
液晶部表示	メートル・回転数・スプール回転方向 スピード設定値・電圧レベル・電圧低下警告					
付属品	AT-3S専用電源コード・リールグリース					

※本仕様は改良等のため予告なく変更する場合があります。

MADE IN JAPAN

■使用上のご注意

<p>警告</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ●レベラインやスプール、ハンドルなど、可動部分に手や衣服などをはさまないようにご注意ください。 重大なケガにつながる可能性があります ●分解したり、指定以外の電源を使用すると、発熱や発火などの可能性があるので絶対におやめ下さい。 ●巻き上げモーターは負荷により発熱します。やけどなどの無いようご注意ください。 ●その他、釣り以外での目的でのご使用は危険ですとおやめ下さい
--	--

各部の名称

COMMAND AT-3S 各部名称



コントロールパネル部



- ①船べり停止・補正スイッチ……船べり停止位置のリセット (P9) と補正 (P15)、各操作の入力終了
- ②自動巻取スイッチ……自動巻取 (P10) とシャクリモードの開始
- ③釣力コントロール切替スイッチ……釣力コントロール切替 (P12)
- ④瞬動巻取スイッチ……瞬動巻取り (P10) と自動巻取の停止、およびシャクリ休止時間の設定に使用

電源の接続

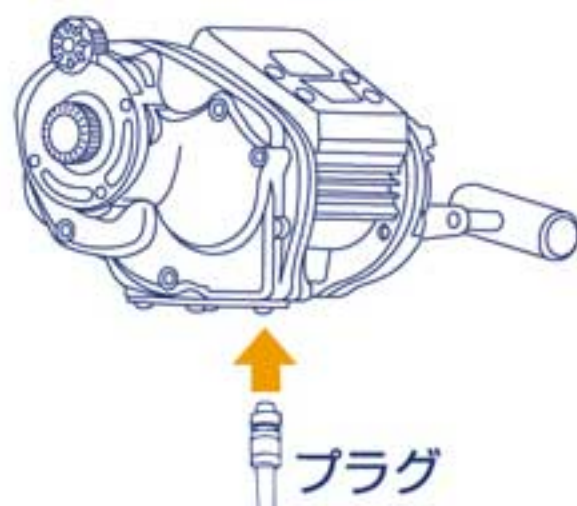
1 電源コードをバッテリーに接続します。

電源コードをバッテリー (DC-12V.12A以上) の ⊕ に赤カバーのクリップを ⊖ に黒カバーのクリップを接続して下さい。(バッテリーはなるべく、海水のかからない安定した場所におきましょう。)

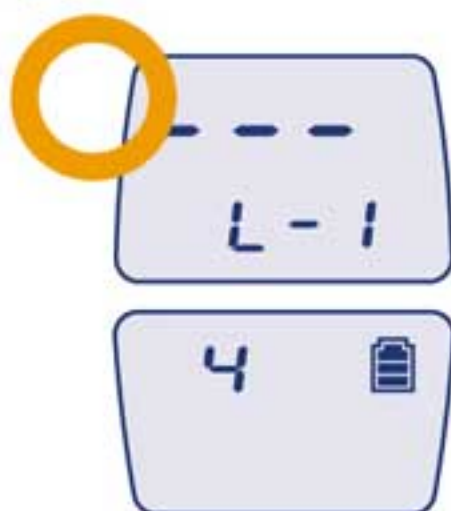


2 電源コードをリールに接続します。

リールのコントロールレバーを手前に引き、スプールをフリーにしてから電源コードのプラグをリールのコンセントに接続し、リングナットを締め固定して下さい。



3 電源が正しく接続されると液晶画面が下図のように表示されます。



糸巻き設定前
記憶がクリアされた状態ですので、そのまま糸巻き操作 (P6) へと移行できます。



電圧が10.5V以下
バッテリーを取り替えるか、充電して下さい。



糸巻き設定後
新しく糸を巻かれる時にこの表示が出た時は、前の記憶が残っていますので、クリアして下さい。



本機は直流12V専用仕様です。他の電源 (交流100V、200V等) に接続しますと、焼損し使えなくなるだけでなく、事故の原因ともなります。

釣糸巻き操作

本機はローラーレスのメートル表示です。正しいメートル表示ができる釣糸はミヤニューディーブセンサーの4号、5号、6号、8号、10号、12号の6種類です。糸巻き時は下記の手順で間違いのないように行ってください。

注意

- 釣糸の種別換算データは、弊社の釣糸を基準に入力してありますので、弊社以外のメーカーの釣糸をご使用になった場合は、メートル表示と実長に多少の誤差が出る場合があります。また、弊社の釣糸をご使用いただいた場合でも、正しい巻取り操作で巻いていただかないと、メートル表示と実長とに誤差が出る場合があります。
- 釣糸巻き操作の途中で電源を切りますと、巻取った糸のデータは無効となります。
- リールの性能を十分に発揮させるために、釣糸は必ずスプールのピンに結び付けてください。
- 糸巻量(P3)以上に釣糸を巻かないようにしてください。指定量以上に糸を巻くと正常な動作が出来ないことがあります。

1 電源の接続。

電源(DC-12V)を接続し、液晶パネルを図1の状態にします。(P5参照)



液晶パネルが<図2>を表示する時は、先に入力されたデータが残っていますので一度クリアしてください。

クリアー

- ① リールから電源コードを抜き、電源を切ります。
- ② リールの自動巻取スイッチを押したまま電源コードをリールに接続します。(自動巻取スイッチを押したまま離さないで下さい。)

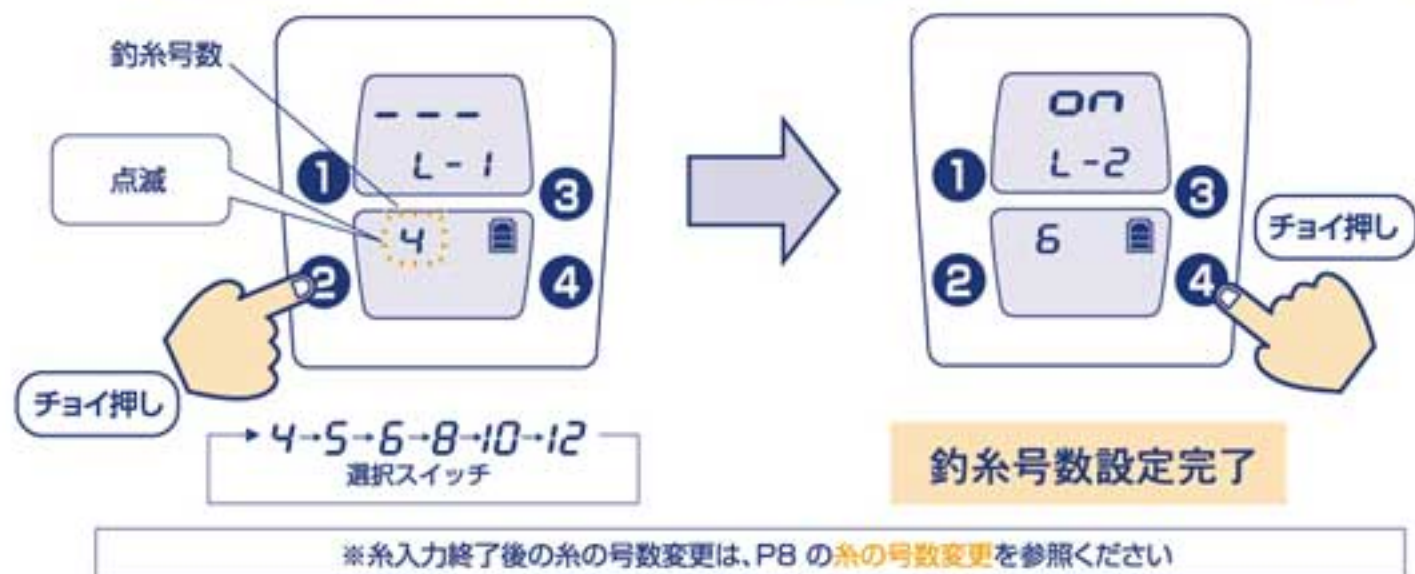


釣糸巻き操作

2 リールのガイドホルダーに糸を通し、スプールに糸を結んで下さい。

3 釣糸の選択・設定

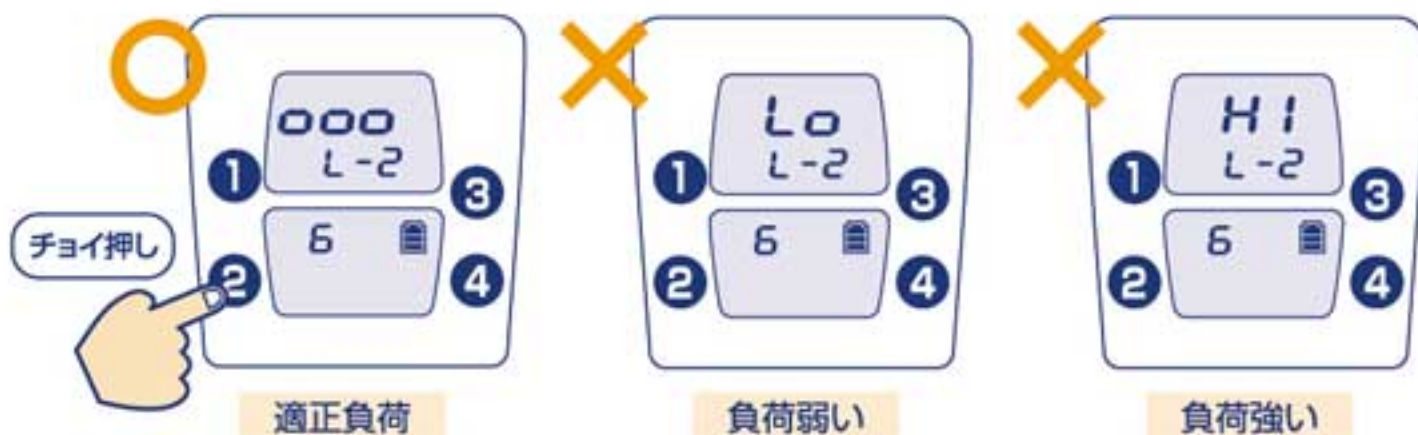
自動巻取スイッチを押して釣糸号数を選択したあと瞬動巻取スイッチを押して設定します。



4 コントロールレバーを前に倒して、クラッチを継ぎます。

5 糸巻き操作（巻取りスピードは一定です）

自動巻き取りスイッチを押して、ミヤテンションアジャスターなどで釣糸に適正な負荷をかけながら糸を巻きます



自動巻取ボタンを押して、この状態を維持しながら巻いてください。

負荷が強すぎるため、停止することがあります。画面の点滅が停止するまで待ってから表示が「000」になるように巻いてください。

釣糸巻取り時は、必ず「000」小文字の表示範囲で巻いていただきます様お願いします。
表示が不安定な負荷で巻かれますと、メートル表示と実長との誤差が生じますので特に御注意下さい。



警告

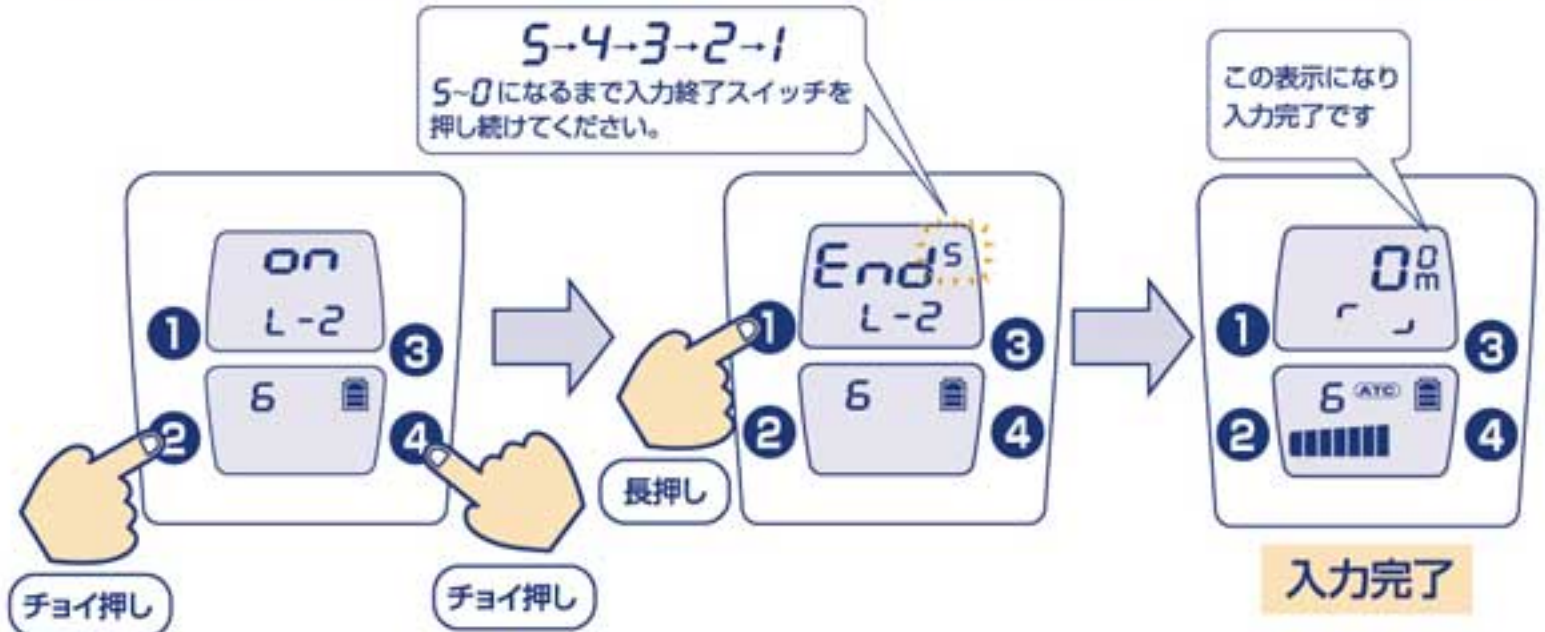
指詰め注意

糸をリードするガイドホルダー周辺に指を挟まれて、けがをする恐れがあります。

釣糸巻き操作

6 釣糸の選択・設定

必要量の糸を巻いたら、自動巻取スイッチまたは瞬動巻取スイッチを押して巻き上げを停止させ、入力終了スイッチ（オートドラグスイッチ）を5秒間押し続けて糸入力を完了させます。

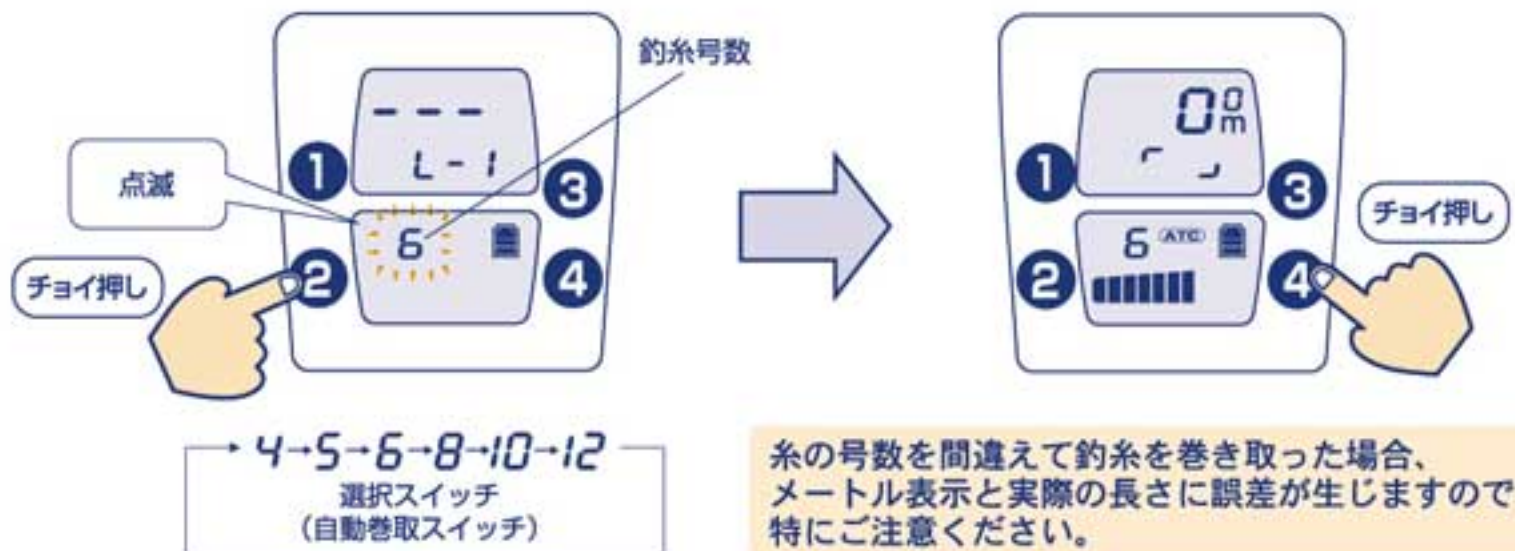


糸の号数変更

①糸巻き操作で糸の号数選択設定を間違えた時は瞬動巻取スイッチを押しながら電源コードをリールに接続し、5秒間スイッチを押したままにします。

②釣糸の選択・設定をします。自動巻取スイッチを押して釣糸を選択し、瞬動巻取スイッチを押して決定します。

(P7-③釣糸の選択・設定参照)



糸の号数を間違えて釣糸を巻き取った場合、メートル表示と実際の長さには誤差が生じますので特にご注意ください。

主な機能および操作

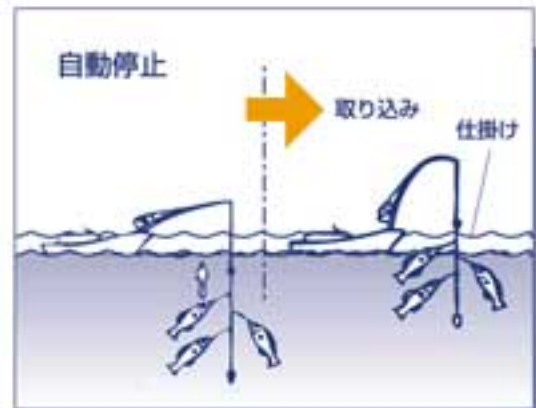
1 船べり停止 3秒以上押してください

◎巻上時、船べりで自動停止させたい位置(0m 船べり停止)の設定

降ろした仕掛けを巻きあげて、魚を取り込んだり、餌を取り替えるときに、仕掛けの取り込みやすい位置で船べり停止スイッチを3秒押し、液晶表示部の「メートル・回転数表示」を0mにして仕掛けを降ろせば、次の巻き上げ時からは瞬動巻取、自動巻取いずれの場合でも、自動的に船べり停止(取り込みやすい)位置で停止します。



船べり停止スイッチを8秒以上押すと補正モード(P15)になってしまいますので、表示が0mになった段階で船べり停止スイッチから指を離してください。

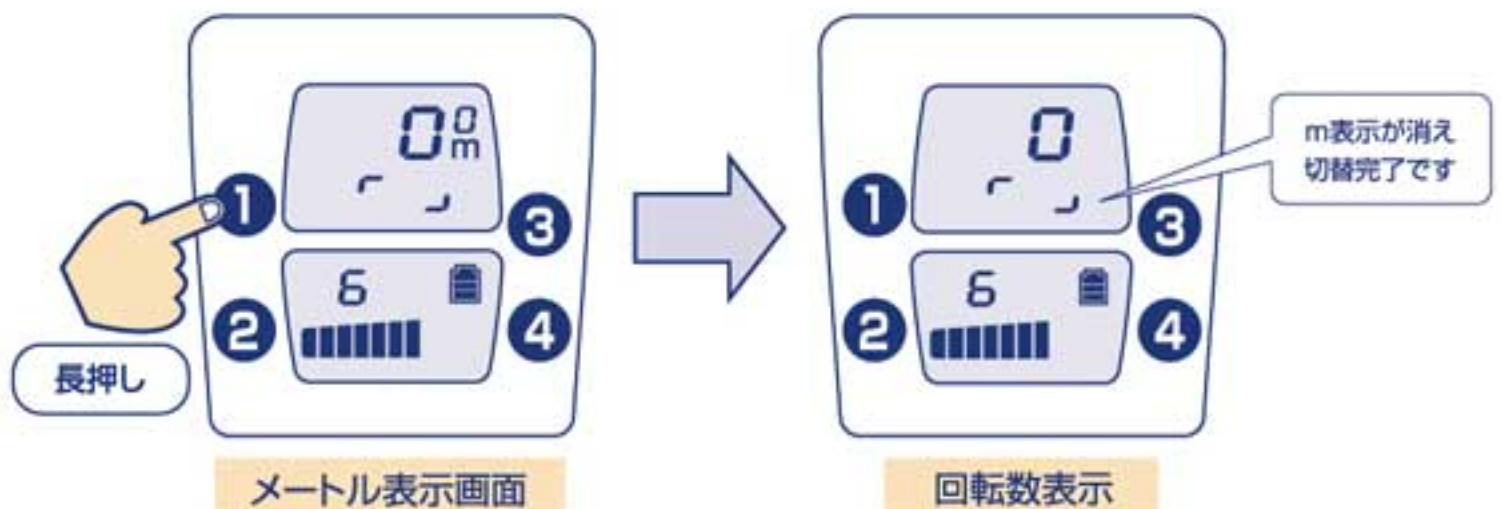


船べり停止位置は糸の伸縮や負荷などによって多少異なることがあります。軽量の仕掛けを使用される時は、初回の投入時は船べり停止位置に余裕をもって、巻き込みのないようご注意ください。

2 回転数表示への切り替え

ミヤニューディーブセンサー4号、5号、6号、8号、10号、12号以外の糸を巻くときは、メートル表示に誤差が生じます。制御を正確に行うために回転数表示でご使用ください。

船べり停止スイッチを押しながら電源を接続すると、液晶表示部の「メートル・回転数表示」から「m」が消えて、メートル表示から回転数表示になります。



メートル表示画面

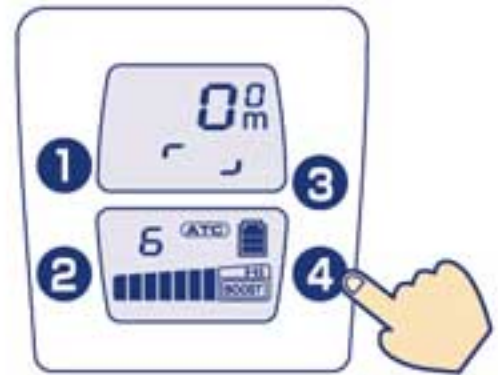
回転数表示

一度電源を切り
船べり停止スイッチを
押しながら、電源コードを
リールに接続します。

主な機能および操作

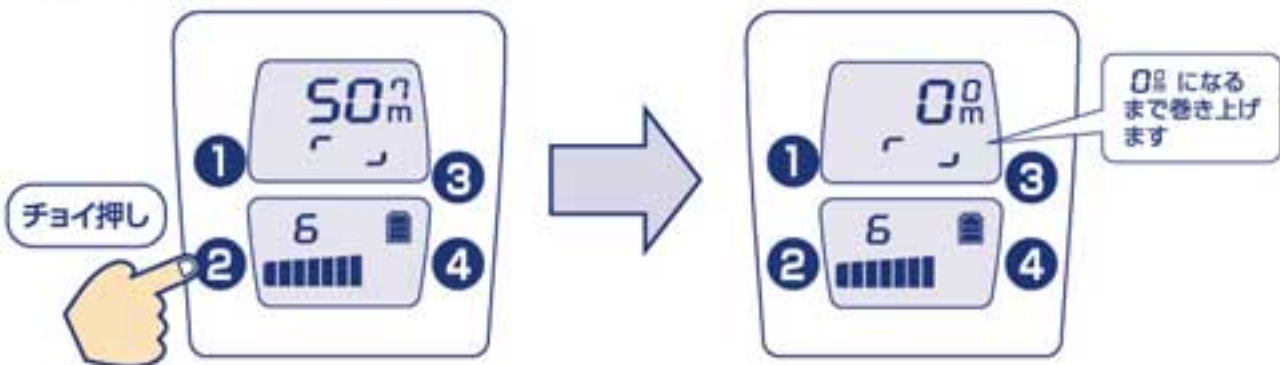
3 瞬動巻取り・自動OFF

- 瞬動巻取スイッチを押している間はモーターが回転し、離すと停止します。(設定速度に関わらず最高速度で回転します)
- 自動巻取り中(P10)にスイッチを押すとモーターは停止します。



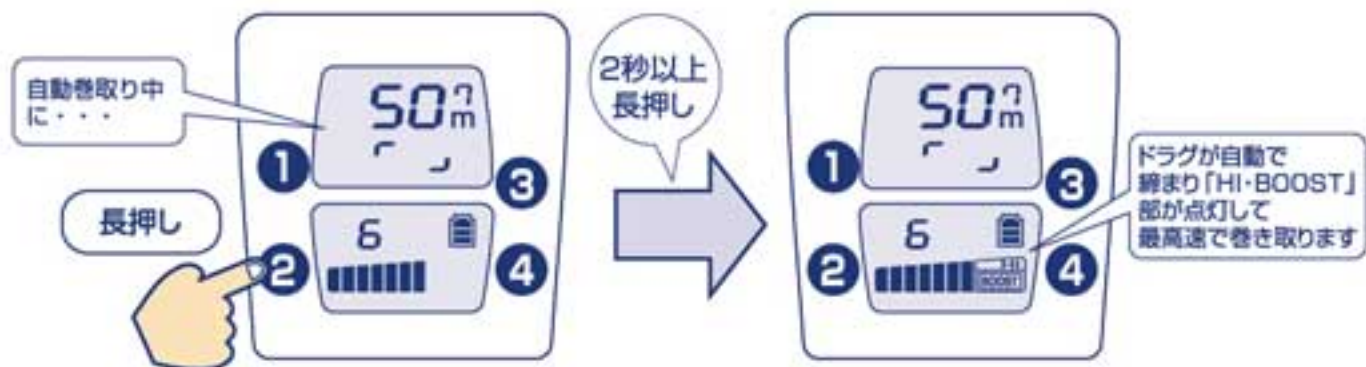
4 自動巻取りON/OFF

- 自動巻取スイッチを押せば、船べり停止位置(0m)まで自動で巻き上げます。ただし、液晶表示が(0m)まで巻き上げたときは、自動巻き取りはできませんので船べり停止位置(0m)以外の位置にしてください。停止させるときは、瞬動巻取か自動巻取スイッチを押してください。



高速自動巻き取り

- 自動巻き取り中に、自動巻取スイッチを2秒以上押すと、最高速で巻き取ることができますので仕掛けの回収などに便利です。

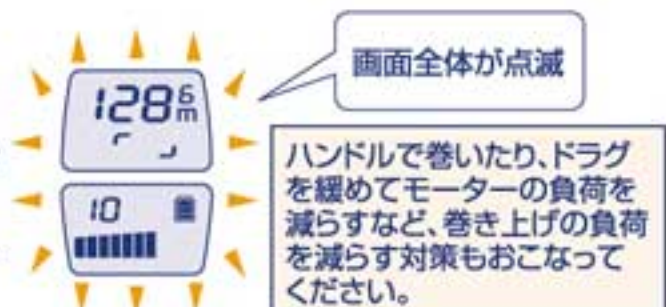


「0m」表示のときの自動巻き取り

- 0mのとき、瞬動巻取りを押すかハンドルで2m以上糸を巻くと、自動巻き取りが可能です。

「過負荷」停止

- 大物との長時間のやり取りなど、リールに大きな負荷がかかるとモーターや電気回路の保護のため、液晶表示部全体が点滅し、巻き上げを含む一切の動作が停止することがあります。液晶表示部が点滅から点灯に変わるまで待つ、再び自動巻き上げを行ってください。



5 スピードコントローラー

- 自動巻取で巻取り中にスピードコントローラーを回すことにより、巻取り速度を低速から高速まで高範囲に自在に無段変速することができます。
- 速度は低速から高速までを液晶表示部に11段階に表示され、(表示は11段階ですが実際の動作は無段変速です)巻取り速度を自由に変速できます。

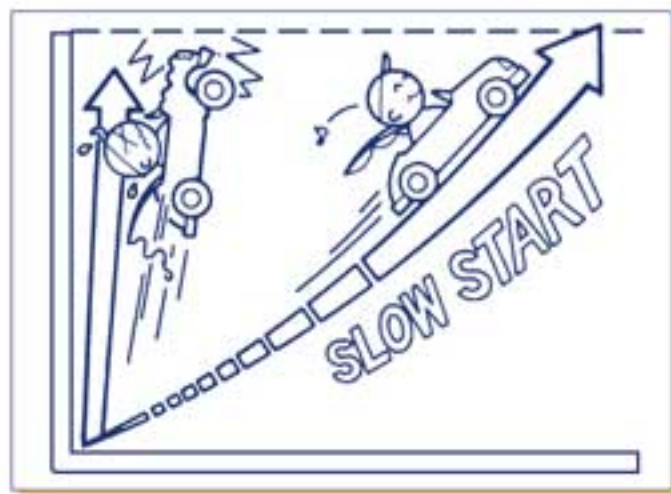
船べり停止位置直前では、下記のスローストップ制御が働くため、設定速度に関係なく低速で巻き取ります



6 スロースタート、スローストップ制御

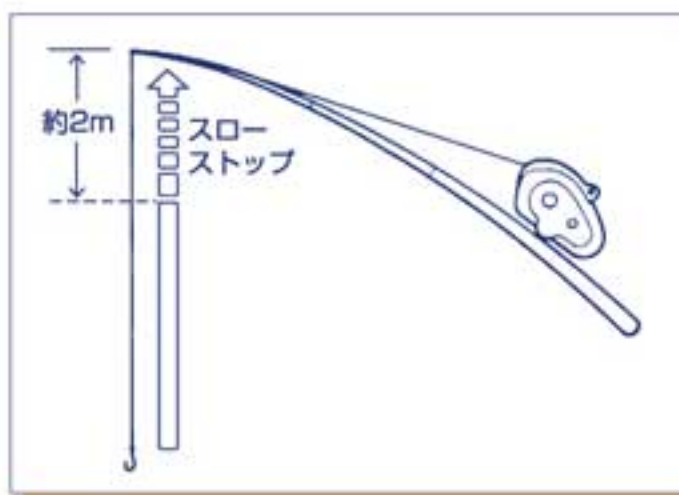
●スロースタート

自動巻取りスイッチを押しますと、スピードコントローラーにより設定されている速度まで最低速よりなめらかにスロースタートし、巻き取ります。



●スローストップ

自動巻取り中、船べり停止の2m程度手前から巻き取り速度を徐々に減速し、スローストップさせます。



スローストップ制御が働いているときは、スピードコントローラーによる速度の変更はできません。また、高速自動巻取り(P10)・釣力コントロール(P12)は作動しません。



注意

長時間連続回転やON・OFFを繰り返しますと、モーター部が熱くなりますので、ヤケド等にご注意下さい。又、リールのためにも温度が下がる迄少しお待ち下さい。

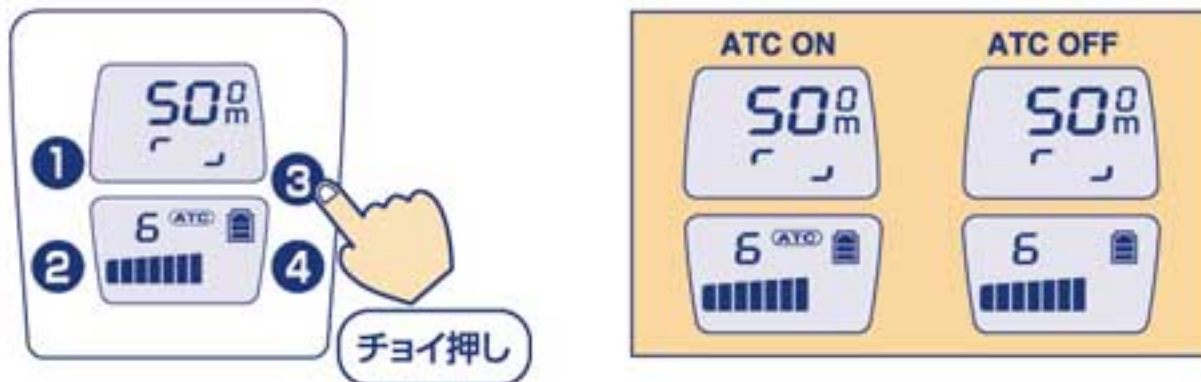


注意

糸が勢いよく出ている時、スプールの上に指を置いたり、糸をつかんだりしますと、糸で指を切ったりヤケドする恐れがあります。

7 釣力コントロール(ATC) 切替

- 釣力コントロールは魚がかかった場合など、ラインにかかるテンションの強弱をマイコンが常時監視し、自動巻き上げ中にその場面に応じた巻き上げ力とスピードに調整します。モーターが停止している時に切替ができます。



8 シャクリ機能

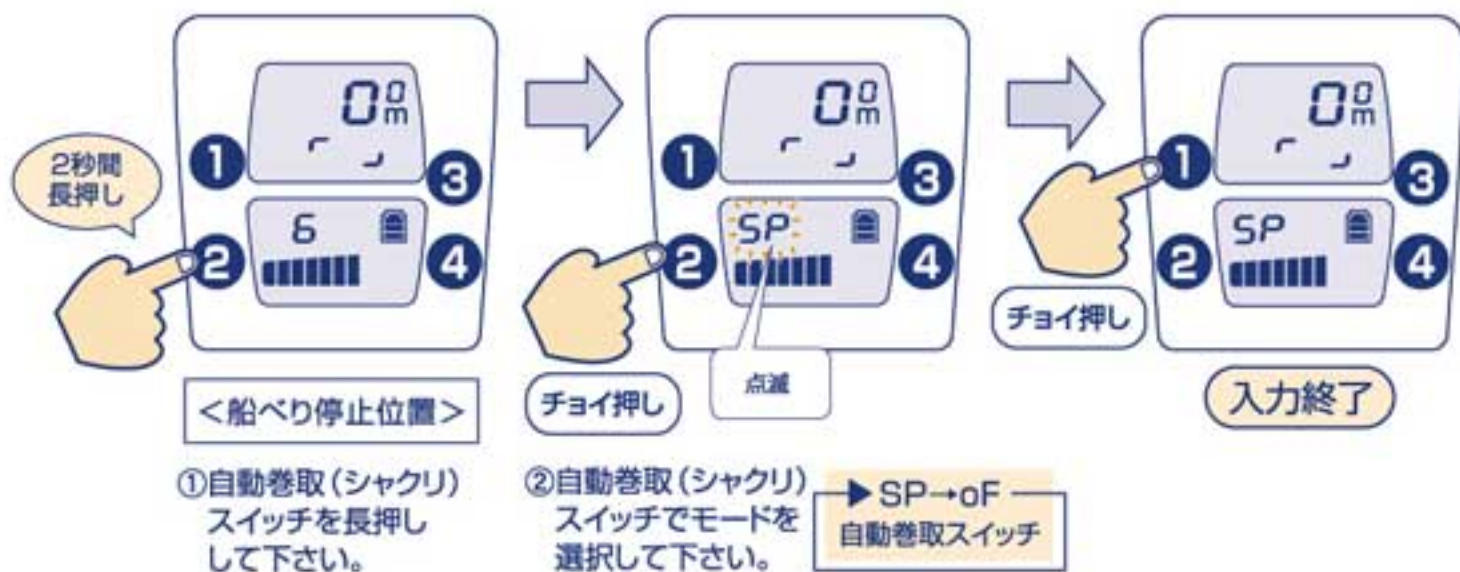
リールに内蔵されているシャクリを使用するとき

- AT-3Sには「SP (シャクリパターン) モード」がリールに内蔵されています。このモードを使用するには、船べり停止位置で自動巻取(シャクリ)スイッチを2秒以上押して、液晶表示部に「SP」を点滅表示させます。使用したいモードのときに入力終了スイッチを押してシャクリ巻き上げを確定します。

SP = シャクリパターンモード 自動巻き取り操作後、1m巻き上げて10秒休止
oF = シャクリモードをやめて通常の巻取り動作を行なう場合

- シャクリは船べりスローストップの範囲になった場合は動作しません。その際は船べりまで通常の巻取りで巻き上げます
- シャクリ動作中、自動巻取スイッチを押すと、シャクリ動作をやめて通常の巻取り動作になります

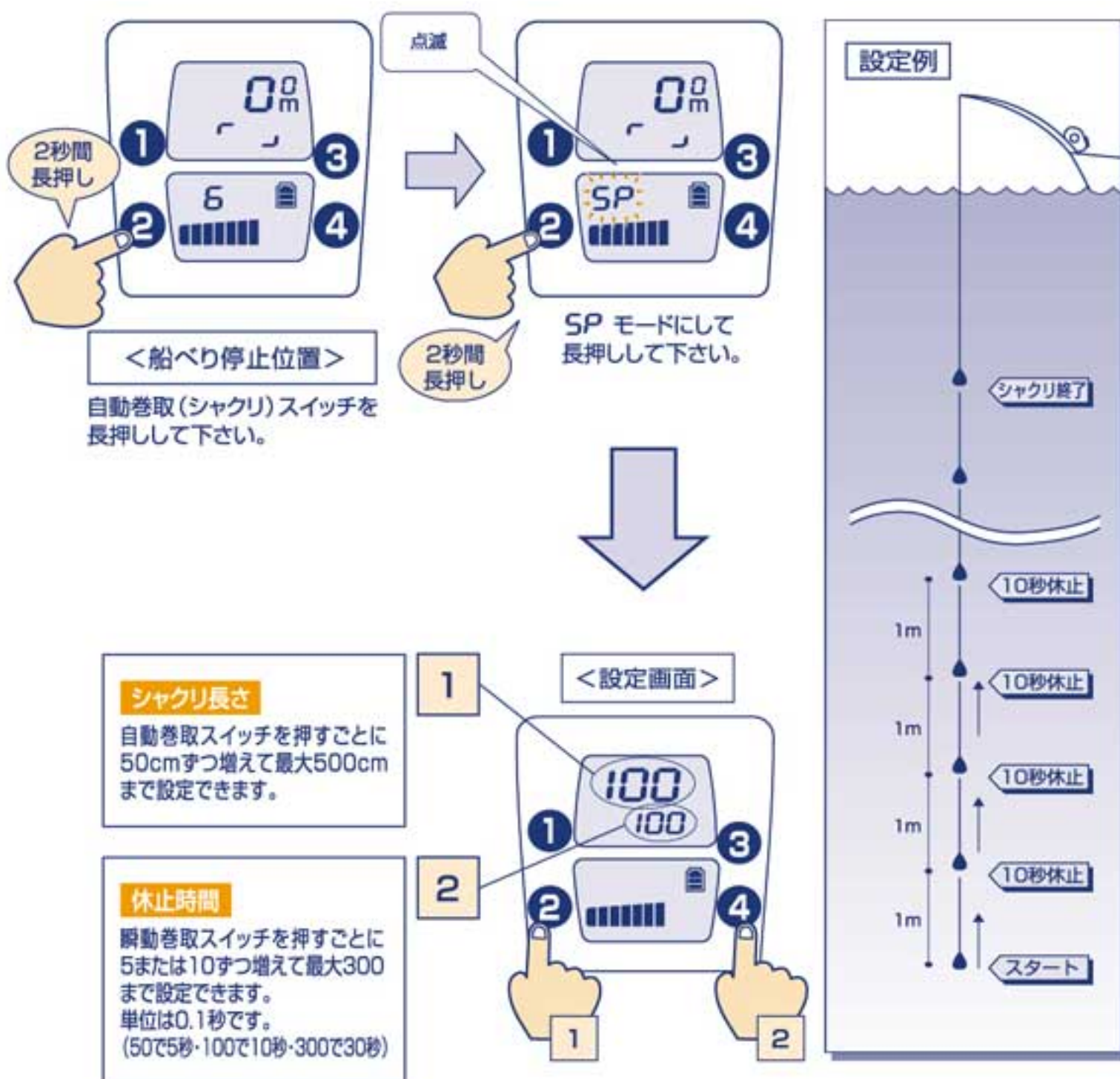
※シャクリ機能時は釣力コントロール(ATC)は使用できません。



主な機能および操作

シャクリを任意に設定するとき

- シャクリ巻き上げの際、シャクリ幅（標準1m）、休止時間（標準10秒）、の2つの項目を自由に設定できます。船べり停止位置で自動巻き上げ（シャクリ）スイッチを2秒以上押して、液晶表示部に「SP」を点滅表示させます。シャクリを自由に設定する際は、自動巻き上げ（シャクリ）スイッチを2秒以上押すと設定画面が表示されます。



設定表示の例



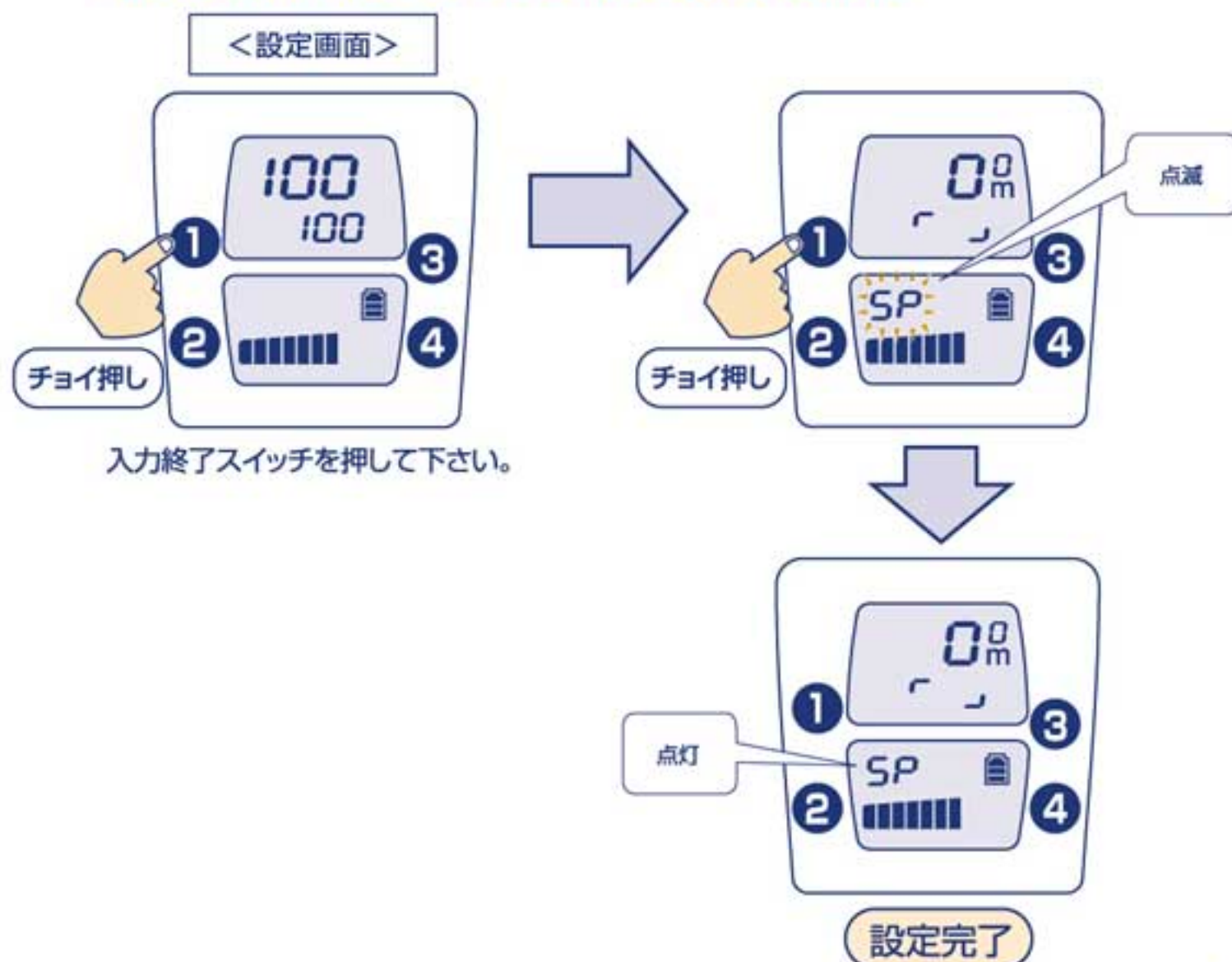
5m巻き上げて15秒間休止。



50cm巻き上げて0.5秒間休止。

- 設定が完了しましたら、入力終了スイッチを押すと、シャクリモード選択画面にもどりますので、再度入力終了スイッチを押して、モードの点滅が点灯に変われば設定完了です。次回の自動巻き上げ時からシャクリモードが有効になります。

設定したシャクリのパターンは電源を切っても記憶しています。

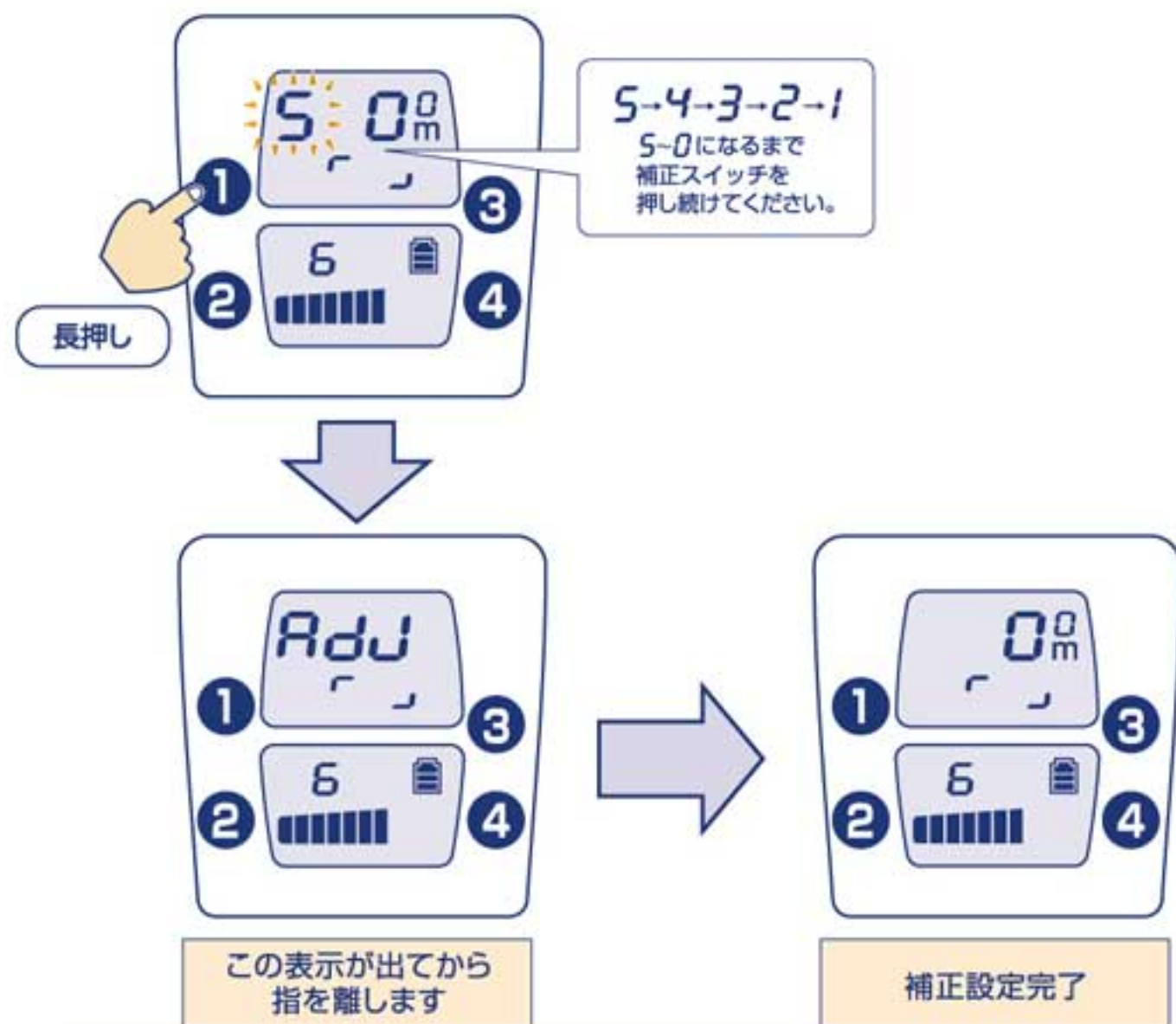


糸長さ補正制御

次の場合、補正スイッチを押して船べり停止位置を補正してください。

- 糸切れ補正 糸が切れたり、傷んだ部分を切り取った時
- 糸継ぎ足し補正 糸を継ぎ足したとき。※必ず同じ号数の糸を足してください
- 巻き締め補正 巻き上げを繰り返すうちに船べり停止位置が巻き足らずになった時

瞬動巻取りスイッチまたはハンドルで船べり停止させたい位置まで巻き上げ、補正が完了するまで補正スイッチを押しつづけます。最初に表示が 0⁰m になったあと5秒のカウントダウンになります。

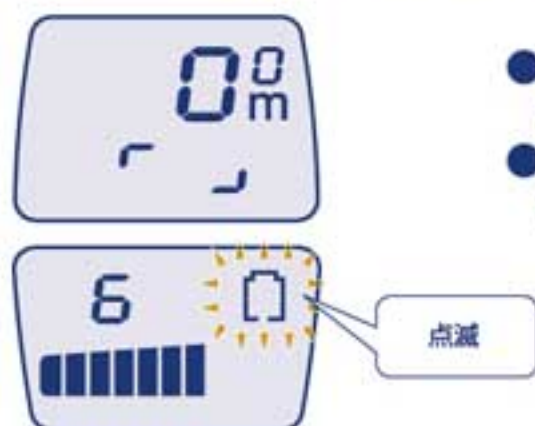


注意 補正スイッチを5秒以上押しはけない時

- ①船べり停止位置が巻き締めにより、最初の設定位置よりも下の位置で止まり巻き足らずの分を巻き取った後
- ②仕掛けの投入後に電源コードが抜けてしまい再度コードを差し込み船べり停止位置まで巻き上げた場合
- ③電源が入った状態で、糸の端をスプールに巻き込んだ場合（空巻きをした場合）

1 バッテリー電圧低下警告

- バッテリーの電圧が10.5V以下に低下すると、液晶表示部の電池マークが点滅します。そのまま使用すると正しい動作が出来なくなる場合があります。警告表示が出た時はバッテリーの充電か交換をお願いします。



- バッテリーは自然放電します。釣行前には必ず充電してください。
- サビや断線による電源コードのトラブルで作動しない場合があります。釣行前に確認してください。

2 過負荷停止制御

- 大物との長時間のやり取りなど、リールに大きな負荷がかかるとモーターや電気回路の保護のため、液晶表示部全体が点滅し、巻き上げを含む一切の動作が停止することがあります。液晶表示部が点滅から点灯に変わるまで待つて、再び自動巻き上げを行ってください。

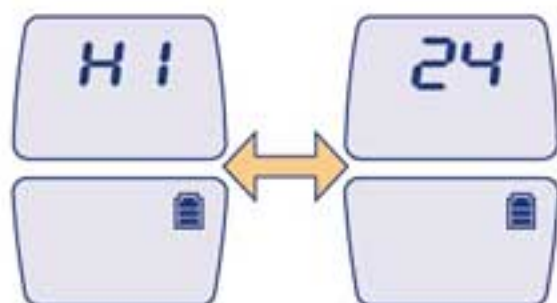


ハンドルで巻いたり、ドラグを緩めてモーターの負荷を減らすなど、巻き上げの負荷を減らす対策もおこなってください。

3 電源の+-逆接続

- 電源のクリップを電源(バッテリー等)に逆接続した場合は、液晶が点灯せず、モーター、電源回路、制御回路への電気供給を遮断します。

4 過電圧入力警告表示



- 1秒ごとに左記の点滅を繰り返す場合は、24Vの電源に接続しているなど、正常に使用できる電圧範囲(10.5V~13.5V)を超えています。一旦電源コードを抜いて、電源電圧を確認の上、もう一度接続しなおしてください。

ドラグの調整方法とサミング

ドラグの調整方法

①コントロールレバーを中間程度に倒します。
(残りの部分は大物がかかった場合の余力として残しておきます)

②糸を引いてドラグの強弱を確かめます。

●ドラグが強いとき

コントロールレバーを手前に引いてドラグ調整ツマミを左に回す。

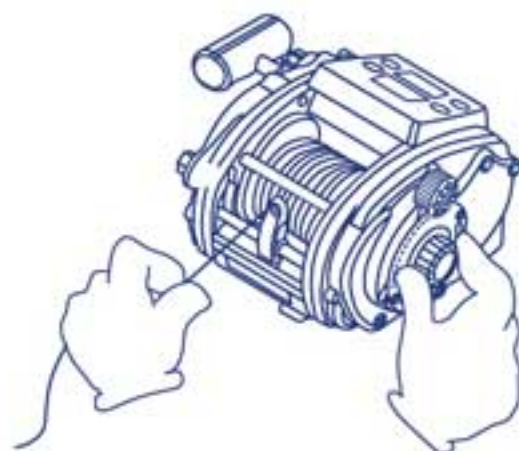
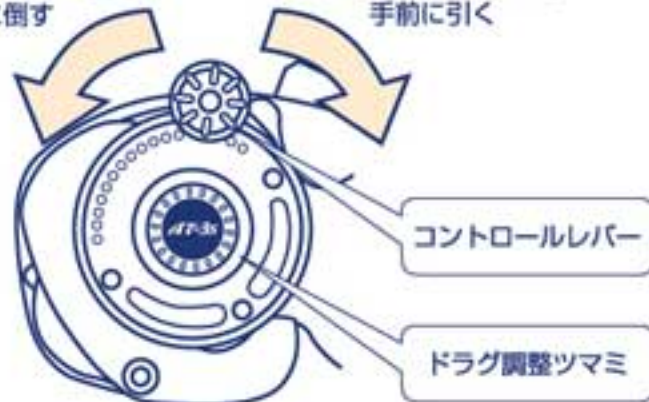
●ドラグが弱いとき

コントロールレバーを手前に引いてドラグ調整ツマミを右に回す適度な強さになるまでこの操作を繰り返してください。

ただし、あまりドラグ調整ツマミを右に回し過ぎるとコントロールレバーを手前に引いてもフリーにならない場合がありますのでフリーの状態も確認しながら調整してください。

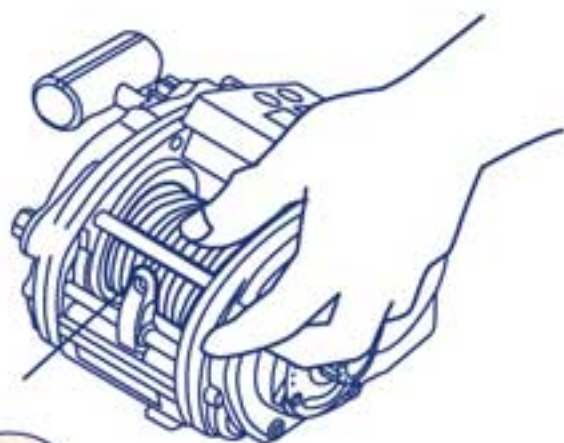
コントロールレバーを
向こうに倒す

コントロールレバーを
手前に引く



サミング

●AT-3Sはスプールフリーを実現しており、スプール回転が大変軽くなっています。仕掛けの落下時は、バックラッシュなどのないようサミング(スプールを指で押さえて回転をコントロールする)をしてください。



メモ

注意

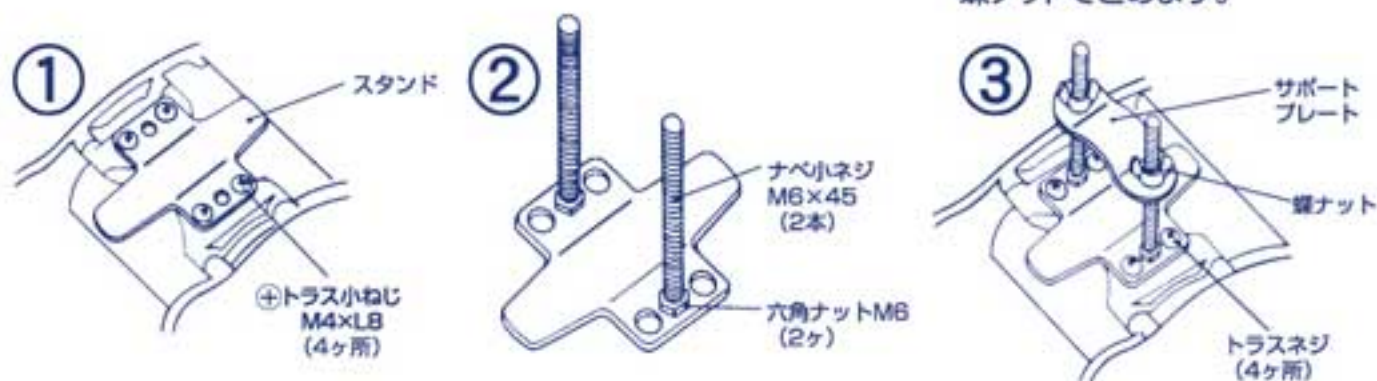
サミングの際は、レベラインなどに指を挟まないように気を付けてください。

AT-3Sのドラグは非常になめらかなため、ドラグ調整ツマミを少し締めつけることによってスプールブレーキとして使用することができます。

オプションパーツ (別売品)

サポートプレートの取付方法

- ① トラスネジ(4ヶ所)を緩め、スタンドを外します。
- ② ナベ小ネジ2本と六角ナット2ヶで固定します。
- ③ ②を本体にトラスネジ(4ヶ所)でとめます。竿を取り付けてからサポートプレートを通し、蝶ナットでとめます。



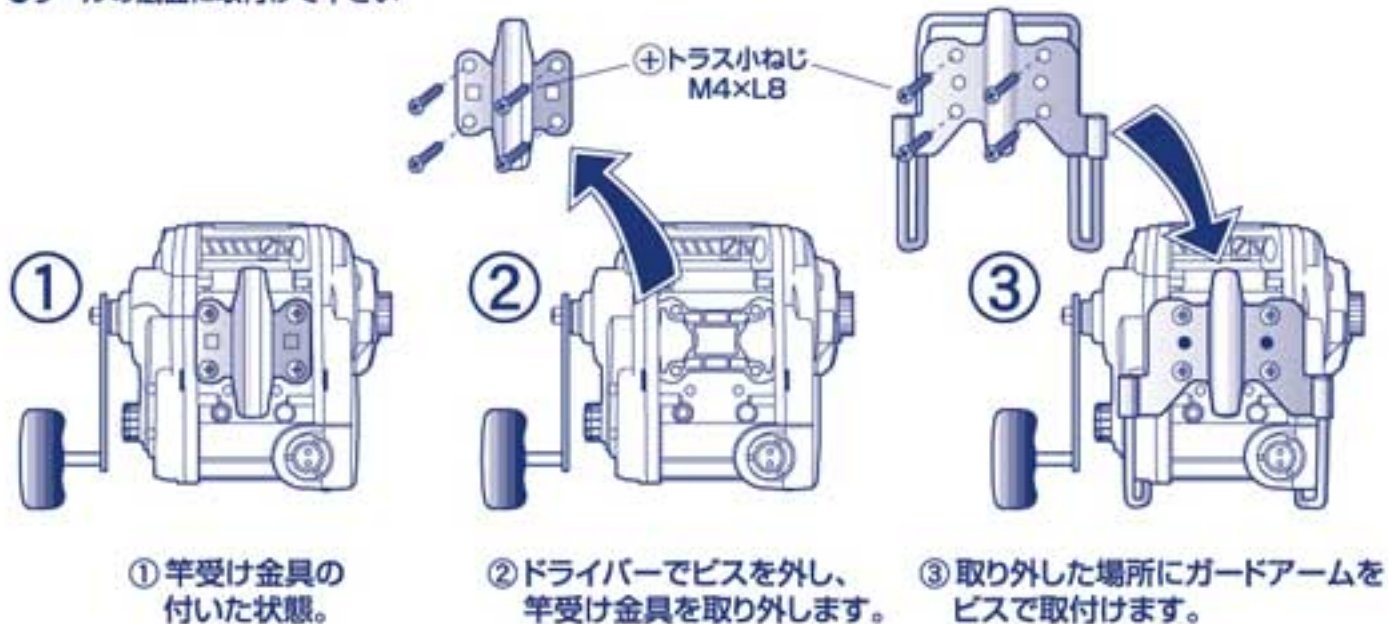
※トラスネジ(4ヶ所)は緩み止め加工を施してありますが、取り外しは5回位迄として下さい。

ガードアームの取付方法

リールを保護して、いつまでも美しく保ちます。

AD-3(R)・(B)・(W)、にも取付け可能

●リールの底面に取付けて下さい



動作に問題が生じた時は、下記の内容をまずご確認ください

●電源が入らない

- 電源は正しく接続されていますか?クリップやコネクタが外れてはいませんか?
- 電源線やコネクタが腐食していませんか?
- 本機はDC12V専用です。24V電源などに接続されていないかご確認ください。
- 電源を抜いた後、設定をバックアップをしています。このため電源を抜いてから数秒後は液晶が表示されないことがありますので、10秒ほど待ってから再度接続してください。

●正しく動作しない

- 10.5V以下や13.5V以上など、電源電圧が正常でない場合があります。電源電圧をご確認ください。
- 釣糸の巻きすぎにより、スプールに巻かれた釣糸と本体が干渉することがあります。必ず指定糸巻き量以下でご使用ください。

●メーター表示が正しくない

- 釣糸にかかる負荷によって釣糸の伸びが異なりますので、負荷の小さいときと、負荷の大きい場合では、メーター表示にある程度の誤差が生じますのでご了承ください。
- 釣糸にミヤニューディーブセンサーを使用した場合に正しく表示されるようになっています。それ以外の糸を使用した場合は誤差が生じることがあります。

●フリーにならない

- ドラッグ調整ツマミを締めすぎている場合、コントロールレバーを一番手前に引いてもフリーにならないときがあります。


●コントロールレバーが最後まで回せない

- ドラッグ調整ツマミを締めすぎている場合、コントロールレバーを最後まで回せない場合がありますので、ドラッグ調整ツマミをゆるめに調整してください。

●過負荷の復帰に時間がかかる

一度過負荷で停止すると、モーターなどがすでに発熱しているため、復帰までに時間がかかります。過負荷停止にならないようドラッグや巻上速度の調整をして頂くことをおすすめします。

●表示から巻き上げ出来ない

電源を入れ忘れて、仕掛けを投入したあとに電源を入れた時など、表示状態から極端に長い距離を巻き上げると、巻き上げができなくなる場合があります。この場合はクリアーの処理をして、データをリセットしてください。

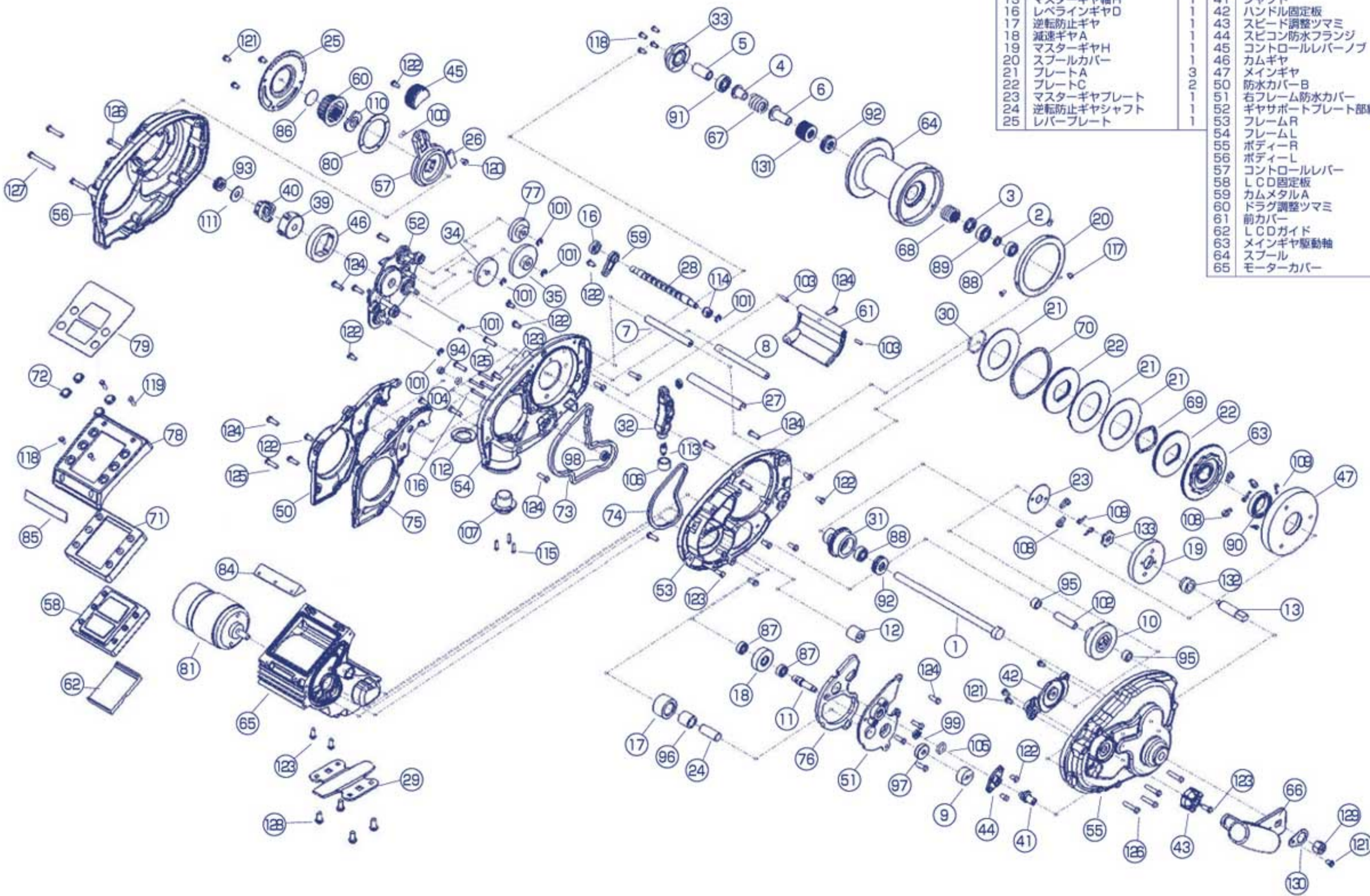
※クリアーした場合は、再度、糸入力設定をしてください。

使用上のご注意及びお手入れ方法

いつまでも快調にご愛用いただくため、次の事にご注意下さい。

- ①電源は正しい指定電圧でご使用下さい。
DC-12V専用(DC-10.5~13.8V)
- ②落下等急激なショックを与えないで下さい。
- ③本機は完全防水(0.3気圧)ですので、使用後は真水をかけて汚れや塩分を洗い流して、柔らかい布で拭き取って下さい。
- ④リールのコンセント部、コードのプラグ部、クリップ部、レベルワインド部は塩分及び水分をきれいに拭き取り、添付のグリースを塗って下さい。
- ⑤指定の注油部(レベルワインド・電源コンセント)以外の本体内部には注油の必要がありません。
- ⑥シンナー等の有機溶剤系のものでの、洗浄お手入れはお止め下さい。
※市販のCCRスプレー潤滑油は、鉱物性のものが多いので特にご注意下さい。
- ⑦本機はコンピュータ等の制御回路が内蔵されておりますので、お客様ご自身での分解組立はご遠慮下さい。
- ⑧リールを使用しないときはコントロールレバーを戻し、スプールをフリーの状態にして保管してください。





番号	部品名	数量	番号	部品名	数量	番号	部品名	数量
1	メインシャフト部組	1	26	クリックバネ	1	66	ハンドル部組	1
2	ベアリングスペーサー	1	27	レベラインケース	1	67	圧縮ばね (φ2.5)	1
3	モドシバネガイド	1	28	トラバースカム	1	68	戻しばね (φ1.5)	1
4	スプリングガイド	1	29	リールシート	1	69	ウエーブワッシャーA	1
5	スペーサー	1	30	ストッパーリング	1	70	ウエーブワッシャーB	1
6	サラバネガイド	1	31	マスターピニオン	1	71	パネルパッキン	1
7	ガイドバー	1	32	ガイドホルダー	1	72	スイッチゴム	4
8	取り付けバー	1	33	レベラインギヤA	1	73	防水ゴムA	1
9	減速ギヤB	1	34	レベラインギヤB	1	74	防水ゴムB	1
10	ギヤCD部組	1	35	レベラインギヤC	1	75	防水ゴムC	1
11	減速ギヤシャフト	1	39	クラッチカムA	1	76	防水ゴムD	1
12	ピニオンギヤ	1	40	クラッチカムB	1	77	スプールセンサーギヤ	1
13	マスターギヤ軸H	1	41	シャフト	1	78	コントロールパネル	1
16	レベラインギヤD	1	42	ハンドル固定板	1	79	操作パネルシート	1
17	逆転防止ギヤ	1	43	スピード調整ツマミ	1	80	スリッププレート	1
18	減速ギヤA	1	44	スピコン防水フランジ	1	81	メインモーター	1
19	マスターギヤH	1	45	コントロールレバーノブ	1	84	ヒートシンク	1
20	スプールカバー	1	46	カムギヤ	1	85	銘板A	1
21	プレートA	3	47	メインギヤ	1	86	銘板B	1
22	プレートC	2	50	防水カバーB	1	87	ラジアル(φ5/φ11, 4)	2
23	マスターギヤプレート	1	51	右フレーム防水カバー	1	88	ラジアル(φ6/φ13, 5)	2
24	逆転防止ギヤシャフト	1	52	ギヤサポートプレート部組	1	89	ラジアル(φ6/φ15, 5)	1
25	レバープレート	1	53	フレームR	1	90	ラジアル(φ17/φ26, 5)	1
			54	フレームL	1	91	ラジアル(φ6/φ17, 6)	1
			55	ボディーR	1	92	スラスト(φ8/φ16, 5)	2
			56	ボディーL	1	93	スラスト(φ6/φ12, 4.5)	1
			57	コントロールレバー	1	94	オイルスプッシュ80B-0403	1
			58	LCD固定板	1	95	オイルスプッシュ77B-0605	2
			59	カムメタルA	1	96	ワンウェイクラッチ	1
			60	ドラッグ調整ツマミ	1	97	オイルシール(φ5/φ14, 4)	1
			61	前カバー	1	98	オイルシール(φ4/φ9, 3)	1
			62	LCDガイド	1	99	オイルシール(φ4/φ8, 2.5)	1
			63	メインギヤ駆動軸	1	100	φ3ボール	2
			64	スプール	1	101	E型止め輪 呼び径3	6
			65	モーターカバー	1	102	平行ピン φ6×25(h8)	1
						103	平行ピン φ2×8	2
						104	Oリング 1AS-4	1
						105	Oリング 1AS-8	1
						106	レベラインナット	1
						107	メタコン部組	1
						108	ラチェット爪	5
						109	ラチェットバネ	5
						110	ドラッグネジ	1
						111	ドラッグワッシャー	1
						112	メタコンセットプレート	1
						113	レベライン	1
						114	カムメタルC	1
						115	M2×8 ナベ小ネジ	3
						116	M2×16 ナベ小ネジ	4
						117	M2.6×4 ナベ小ネジ	3
						118	M2.6×6 ナベ小ネジ	6
						119	M2.6×10 ナベ小ネジ	2
						120	M3×4 ナベ小ネジ	1
						121	M3×5 ナベ小ネジ	7
						122	M3×6 ナベ小ネジ	10
						123	M3×8 ナベ小ネジ	11
						124	M3×10 ナベ小ネジ	20
						125	M3×12 ナベ小ネジ	3
						126	M3×16 ナベ小ネジ	7
						127	M3×30 ナベ小ネジ	1
						128	M4×8 ナベ小ネジ	4
						129	ハンドルナット	1
						130	ハンドルナット固定板	1
						131	サラバネ	12
						132	オイルメタル	1
						133	ラチェット	1